

美肌の鍵はランゲルくんです

健康な美肌をめざして…

6



NPO法人 日本免疫美容協会

理事長 島野孝子

これまで、このコラムで何もしない肌の方がきれいで、過度なお化粧、

ランゲルくんは
脳につながって
こつで居こつた情報を
届けているんだ



とくに石油系の界面活性剤の入った洗顔剤などが良くないことを紹介してきました。では、それらによつて、なぜトラブルが起きるので

しょうか？

それを理解するためにぜひ知つて欲しいのがランゲルハンス細胞という免疫細胞（ランゲルくん）です。ランゲルくんは表皮に点在し、全体の2〜3%あるといわれています。

このランゲルくんがなぜ重要かといえますと、それはこのランゲルくんは脳につながっていて、ヒフで起きたことを脳に伝えているからです。

外気に接している表皮はいろいろなことが起きやすい場所です。傷ついたり、ウイルスや細菌が侵入し

たりします。ヒフの表面に点在しているランゲルくんが、ヒフで起きたことを脳に連絡すると、脳はそれに対応する指令を出します。傷つけばそれを直す指令を、ウイルスなどの侵入を受ければ退治する指令を出して、私たちの体を守るのです。

いつてみれば、脳は司令官、ランゲルくんは見張り役です。

この仕組みを「自然治癒力」、免疫系といいます。免疫系の中でランゲルくんは見張り役として非常に重要な働きを担っているのですが、ランゲルくんが正常に働かなくなると、免疫系は機能しなくなるのです。

美肌も健康な免疫によって維持されています。大事なランゲルくんが正常に働かなくなると、情報が脳に伝えられず、いろいろな弊害が起きるのです。その一つがトラブル肌です。